

事業所における自己評価結果(公表)

公表日: 2020年2月14日

事業所名 児童発達支援センター こじか園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25	0	・保育室をする基本の部屋と寝る部屋を分けたり、生活の中で空間的なわかりやすさを考えている ・子どもを援助するのにちょうどいいと思います ・親子保育、製作で机を出すと少し狭さを感じるので、空いている部屋を使ったり工夫している	・保育内容によっては部屋の使い方などこれからも考えていく
	2 職員の配置数は適切であるか	24	1	・子どもの人数に応じて配置している ・3人の子どもに対して1人の職員が配置されている ・子どもを見守るのにちょうどいい人数です ・子どもの状況に応じて1対1で対応している ・製作などじっくり、手先を使う活動時などグループ関係なく職員が対応して一人ひとりに合わせていく	・職員配置は国が定めて子ども4人に対して職員1より園独自に子ども3人に職員1人の配置にしている ・保育内容により1対1の対応や子どもの様子により1対1の内容にしていることもあるがこれからも柔軟に考えていく ・配置基準に対しては行政に話をしたい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	0	・廊下が一歩道で全体的に見やすくなっている ・子ども一人一人にマークをつけて子どもが認識できるようにしている ・トイレの中と廊下はバリアフリーに改装している ・外遊びも園庭なかの中庭なかの出入口を変えている ・子どもたちがわかりやすいように一人一人に違うマークが準備されており自分の場所が理解しやすい ・広い部屋も小さい部屋もあり、活動に合わせて使い分けています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	2	・保育後も保育前も掃除をしている。 ・活動内容に合わせて机の配置と部屋をかえたりして取り組んでいる ・タオルは共同ではなく1回使ったものを、クリーニングに出している ・毎日各部屋、廊下の掃除を行っている 棚やロッカーなどは子どもがいる空間は危なくないように整理整頓をしている	・職員で環境整備について確認しながらこれからも環境に気を付けていく ・子ども達が生活しやすい環境であるかこれからも確認していく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	23	2	・月に1回前後様々な内容で研修を行っている ・職員会議の後に様々な研修を行っている ・保育の質の向上に向けて実践検討会議をしたり職員会議に全職員研修し、行っている ・ケース会議ができるようになってよかった ・定期的な研修 ・全職員対象のものや保育部対象のものなど必要に応じて計画的に実施している・月に1回職員会議(事務部、給食部、送迎部、発達相談部、保育部)で行い課題共有している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	25	0	・昨年度のアンケートを今年度につなげるようにしている	・今年度も保護者のアンケートや職員のアンケートの意向を園として捉えつなげていく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	24	1	・昨年度の結果は保護者にすべて保護者に配布しホームページにも公開していますし、園にもプリントアウトした結果表を玄関に置いている	・今年度も昨年度と同じようにホームページに掲載し、園の玄関にもファイルにとじていつでも閲覧できるようにしていく
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	10		第三者評価は実施していない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25	0	・月に1回前後様々な内容で研修を行っている ・職員会議の後に様々な研修を行っている ・保育の質の向上に向けて実践検討会議をしたり職員会議に全職員研修し、行っている ・ケース会議ができるようになって子どものことがよくわかりよかった ・定期的な研修 ・全職員対象のものや保育部対象のものなど必要に応じて計画的に実施している	来年度も保育につながる研修や職員全体が知識として必要な研修など職員の資質の向上になるような研修を計画している
関係機	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	25	0	・新入児見学期のアセスメントや説明会での聞き取りをしたり、家庭訪問で直接、ニーズの把握し、それらを含め立案している ・発達相談を年に2回行っているため、客観的に子どもを捉え一人一人に合った支援計画を考えている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	23	2	・標準化かどうかわからないが園できめたアセスメントツールはある ・個人の記録をとっている	
	12 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	0	・同じ内容でも子どもの発達段階により支援の内容を考えている ・園独自の物だがあそび・生活・社会性・特性への配慮、保護者の意向など具体的に課題を考えている ・子どもに必要な支援について話し合いそれを支援につなげている	
	13 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	25	0	・半年に1回支援計画の見直しをしている ・支援計画にそった支援を行うようにしている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	25	0	・グループの子どもたちが楽しめることを提案し合い立案している ・各年齢のグループで立案会議をしてそれを全体のグループリーダー会議で確認している ・会議や打ち合わせ各グループで活動内容を話し合いながら決定していく	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	25	0	・同じような活動でも中身(内容や工程)を変えて取り組むようにしている ・リズム・描画・等固定化するべきものは保育ではあるが、その内容や取り組みは考えている ・子ども達にあった活動内容になってあり固定化されていない	
	16 (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			対象外	
	17 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	25	0	・集団活動を大事にしながらかこの様子を見て個別に対応し、まずはその子が楽しめるようにしている ・半年に1度大きく見直しはしているがその日の反省会の中でも子どもの状況に応じて対応の仕方を変更している	
	18 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25	0	・前日や当日に確認するようにしている・朝の職員朝礼などに流れやすることなど確認している ・それぞれの役割の確認 ・その日の活動内容をリーダーが企画し、内容や役割分担を必ず伝え、全体で把握している・毎日職朝で確認しています。	
	19 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25	0	・毎日必ず反省を行い、内容子どもの様子などを話し合っつなげるようにしている ・申し送りを必ず受けている ・各グループでの振り返りの反省をし、次につなげている・毎日終了後に反省を行い全体に伝えなければいけない内容については必ず申し送りを行っている	
	20 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	25	0	・毎日個人個人の記録をし、気になることは次へつなげたり、対策をとっている ・毎日の様子を記録している気をつけることなど次に全体で確認している ・全体的な保育・各グループ個人の記録を毎日とっている ・会議では話したことなど記録しています	
	21 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	25	0	・半年ごとにグループでの検討と児童発達支援管理責任者の考えを合わせて見直し判断している	
22 (放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか			対象外		
23 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	24	1	・相談支援事業書を利用している子どもは一人もいないサービス担当者会議をしていない		
24 (児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	25	0	・入園児の決定は保健センターや子ども支援課(市)が行っていて子どものことを伝えて下さっている ・保健センターの保健師や発達相談員などとはいつも園児のことで連携している		
25 (放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)			対象外		
26 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象外		
27 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象外		

関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	0	・就学時には入学する学校の先生に気に来て行っている頂いたり、申し送りの機会を作ったりしている ・転園児も転園先の先生にみに来て頂いたり、申し送りに行ったりして情報の共有をしている	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	25	0	・学校の先生が園に来られたり、こちらから連絡を取っている	居住地区区の小学校の校長等の訪問をうけている。就学先が決定した後、就学先の特別支援学校の先生や地域の小学校の先生に園児の様子を見に来てもらっている
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			対象外	
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			対象外	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	0	・他園と研修したり、実践検討の研修をしている 具体的な事業所との交流は作れていない ・障保連等の研修で和歌山県下のセンターや事業所が集まって研修を行っている	・講演会や実践検討会議など研修に参加している
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	8	・地域の文化祭に5歳児が舞台上で発表したりしている ・地域の祭り等の参加 ・山口文化祭への参加しているが一緒に活動とまではなっていないと思う	
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	25	0	・園長が毎回参加している	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25	0	・ノートや電話、対話を通して子どもの状況を伝えるようにしている ・毎日の連絡帳などでできている ・毎日保護者とノートで子どもの様子を伝えながら進めていく	
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	24	1	・ペアレントをしているわけではないが、親子保育や普段のノート等のやりとりの中で伝えたり、職員の対応を参考にもらえるようにしている ・発達相談で支援 ・保護者学習会や親子保育、親同士の交流会などを通じて保護者が変化されていくことを実感する。 ・支援がいる保護者には別に声をかけている	・学習会の後交流会を行ったり、年長児の保護者が卒園前に講師になったり、親の会で学習会を企画したり、保護者同士の交流で保護者が共にたくましく変わってきている。	
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	25	0	・変わるがあるとその都度園長が伝えている ・園より説明が随時行われている	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	25	0	・サインと印鑑をもらって計画の確認をしている	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25	0	・一ヶ月に1回園だよりを発行している ・懇談などをこまめにしている ・毎日の連絡ノートや電話での相談にその都度話をしている ・定期的な発達相談/個人懇談などが行われている ・発達相談などで保護者の気持ちを受け止め相談にのっている	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25	0	・父母の会、保護者会を支援している ・保護者同士のつながりを大切に、保護者会以外に親子保育も行われている	
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	0	・その都度対応している ・保護者からの相談には迅速に対応するようにしているまた保護者の様子を見て気になると必ず声をかけ保護者の思いを聞くようにしている	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25	0	・毎月1回園だよりで伝えたり具体的手紙を発行したりしている ・月1回に園だより、他の行事などについての手紙メールでも連絡を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	25	0	・個人情報を持ち帰らないこと書類はシュレッターで破棄するなど徹底している ・不要なプリントはシュレッターする ・職員会議の中でも特に確認している ・注意はしているがそのままになっていたりする時がある持ち帰りは気にしているが ・個人情報の資料は自宅で処分せず園でシュレッターをかけている ・個人懇談の持ち出しは禁止されている	・これからも個人情報については気を付けていく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25	0	・伝わりにくい保護者には予めノートに書いたり具体的に説明している ・書面、電話の両方で連絡を行ったりわかりづらい場合はその都度対応している ・子ども様子を毎日連絡ノートに書いて伝え保護者にもお家の様子気になることを書いてもらったりして意志の疎通を図るようにしている	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25	0	・夏祭りなど地域の方が参加してくれている ・地域の文化祭に出たり夏祭り地域の人たちを受け入れたりしている ・夏祭りに毎年多くの方々協力して下さり、山口文化祭に行かせてもらっている		
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	25	0	・マニュアルを作成して訓練をしている ・園独自のマニュアルを作り、毎年適したものになるように検討している ・園独自にマニュアルを作り毎年確認している ・救急救命の指導の元AED研修を行っている	
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25	0	・月に1回避難訓練をしている ・通常の保育に想定して行っている ・月に1回地震・火災・不審者侵入・風水害など行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	25	0	・保護者と連絡を取りながら対応している・園の入園時に書面で提出されている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	25	0	・アレルギーのある子どもさんには対応している ・アレルギーの意見書も確認して取り組んでいる ・アレルギーの診断書が提出され、それに基づき、給食には特別食を出して対応 ・医師の指示のもとで保護者と話し合っています	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	25	0	・毎日の反省で必ずヒヤリハットを出し、みんなに周知するようにし、日誌に記録している ・職員の間で常に情報を共有している ・その日のヒヤリハットは反省でだし、申し送りノートにて、次の日の全職員で確認している ・ヒヤリハットがあった場面には必ず記録に残し申し送りで伝える ・共有面職員会議等で1ヶ月分まとめた報告をするを行うなど全職員での確認があれば今以上にわかると思う	・ヒヤリハットがあった場合は毎日の反省で情報を共有し、次の日にも申し送りをしているが、職員会議で振り返ったりしていないので、来年度からはするようにして全職員で確認するようにする。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	25	0	・研修などで勉強している ・法人研修で行ったりしている 虐待についての研修があり園としてどう対応していくか全体で確認 ・今年度講師の都合で外部講師の研修は実施できていない ・虐待についての話を職員会議でしています	・毎年必ず虐待の研修は行う
52	このよつな場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	25	0	現在身体拘束を行なっている子どもはいませんが、いれば保護者に事前に十分説明し、了解を得た上でサービス計画に記載しています		

○この事業所における自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。